

岩村ふれあいセンターで 子ども会と老人が交流

投稿者 老人クラブ 中尾 香代

八月八日(日)午後一時からふれあいセンターで子ども会と老人クラブの交流会を行いました。まず老人クラブの会長、公民館長の挨拶から始まり、日章小学校の校歌をハーモニカの伴奏で歌いました。一年生も大きな声で上手に歌えました。

次に土佐の民話の紙芝居。強くて自信たっぷりのお相撲さんが、シバテンにしてやられるし



保育園のとき以来の紙芝居

ばてん相撲)と幼い時から大きく成るまでにしたオテンバの数々(私のハチキン時代)でした。この頃私達もめったに聞けない懐かしい土佐弁も使われており、子ども達には少し理解出来なかつた所もあつたでしょうが、こんな機会に耳慣れておいて方言を長く伝えて欲しいものです。

そしてフォークダンス。軽やかなリズムに合わせて、手を取り合い、合わせ、パートナーを変えながら楽しい輪ができました。ゲームは紙ふうせんの中にメッセージと点数が書かれてお



おじいさん・おばあさんと子供のダンス

り、それを大きな槌でペチャッコにし、メッセージを読み、その鳴き声やジェスチャーをするのですが、恥ずかしがって声の小さな人もいました。笑い声の絶えないひと時でした。総合点数で子ども達の勝利でした。その後で講師の指導のもと新聞紙でエコバックを作りました。送迎のお父さんお母さんも

参加してくださり大勢で作り始めました。子ども達には少し難しかったけれど、出来ないところは手伝ってもらってやっと作りあげました。



ホールいっぱい賑やかな声

「楽しかった」「ありがとう」の声を聞きました。その間に子ども達はビンゴゲームも行いました。賞品にチョコレートの入った長いエンピツを取った子もいれば、お母さんが欲しがっていたからと漂白剤を選んだ子もいました。

夏休みの日 ほんの二時間少々でしたが総勢五十人ぐらい集まって楽しい交流ができました。お集まりいただいた方々、お手伝いして下さったスタッフの方々本当にありがとうございました。これからも宜しくお願



上手に新聞を丸めて創作?